



様式第10号（第14条関係）

令和7年6月20日

令和6年度持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事 平井 伸治 様

住 所 鳥取市佐治町加茂 739

団体名 プラザ佐治の景観を活かす会

会 長 田中 精夫

令和6年度中に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

1 寄附金受入額 令和6年度合計 48,000円

2 添付書類

- (1) 寄附金活用実績報告書＜様式第10号の2＞
- (2) 寄附金活用収支決算書＜様式第10号の3＞
- (3) その他参考資料

令和6年度寄附金活用実績報告書

事業名	プラザ佐治の生みの親、山陰出身の建築家・安田臣の功績を本にしたい！。
実施期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
事業内容 ※対象者の範囲や人数、実施方法等を具体的に記入。	※対象者の範囲や人数、実施方法等を具体的に記入してください。 期間：令和6年4月～令和7年3月 場所：鳥取県および島根県を中心にインタビュー（約10人）や過去のシンポジウムの記録や新たに座談会（30人）を行い、冊子を作成した。 対象者：佐治町内および山陰の住民、および全国の建築ファン
事業実施の成果・効果（見込み）	◆成果 冊子『プラザ佐治と安田臣』の作成 140頁、50部 発行 内容は、1章「シンポジウムを通してみたプラザ佐治と安田臣」として建物概要、第1回及び第2回シンポジウムのまとめ、コラム、2章「インタビューを通してみたプラザ佐治と安田臣」としてインタビュー記事、3章「資料を通じてみたプラザ佐治と安田臣」として写真、図面、村報、他の安田設計紹介を掲載。 ◆効果 生涯山村に思いを馳せ、山村に暮らす人のための公共建築を作り続けた島根県出身の建築家 安田臣。本人を知る人が少なかった今、親族および関係者にインタビューを行い本にまとめることができた。 元行政関係者にも村の発展への熱い思いをもち続けプラザ誘致に尽力した当時の村長の知られざるエピソードを聞き取り。近代史の側面も併せ持ちつつ、山陰に暮らす島根・佐治の町民の愛郷心の一翼を担うことができた。

※活用事業が複数ある場合には、事業ごとに作成、又は事業の内訳がわかるように記入すること。

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、その見込みを記載すること。

様式第10号の3（第14条関係）

令和6年度寄附金活用収支決算書

【収 入】

区 分	金額（円）	内 訳
支援寄附金	48,000 円	（第1回交付分）
自己資金	151,650 円	
収入 計	199,650 円	

【支 出】

区 分	金額（円）	内 訳
印刷製本費	199,650 円	冊子印刷代金
支出 計	199,650 円	

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。